

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

**お知らせ：次回発信日は10月13日月報(予定)**

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「～家庭内消費は前週より増加も前年割れ水準～消費拡大は足元から取り組む必要～」

- ・9/26週の牛乳類の家庭内消費は、全品目総じて前週(9/19週)よりも販売個数は増加したものの、年度当初から続く低調な傾向は変わっていない。牛乳はコロナ前の19年度実績と比較しても下回る水準となっている。
- ・ヨーグルト類については、全品目総じて前週よりも販売個数は増加し、ドリンクタイプは再び前年を上回る結果となった。一方、個食タイプ、大容量タイプは前年を下回った。
- ・9/26週の全国の天候は比較的好天であり、降水量は平年より少なかったものの消費は期待に反して伸び悩んでいる。今週(10/3週)については、週末にかけて最大消費地である関東を中心に降雨とともに11月並みの気温に低下するとの予報があり、消費をさらに押し下げる可能性がある。
- ・10月から多くの食品で値上げが実施され、家計防衛意識は引き続き牛乳・乳製品へも影響を与えると考えられるが、一方で10月11日から適用される全国旅行支援や水際対策緩和は、業務用及びインバウンド需要増加の後押しとなることが期待される。業務用需要の追い風が期待されるなか、牛乳でスマイルプロジェクトに参加いただいている業界外の企業・団体との連携によって、家庭内消費を中心に足元から積極的に需要喚起に取り組むことが重要である。

【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(9/26週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:同97.9%、成分調整牛乳:同99.2%、加工乳:同97.5%、乳飲料:同98.5%。

牛乳類トータルでは同98.1%

※参考:2020年度比は、牛乳:96.9%、成分調整牛乳:98.3%、加工乳:97.2%、乳飲料:89.2%(牛乳類トータル:95.8%)

※参考:2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は98.2%。

・販売単価は、牛乳:190.1円、成分調整牛乳:173.6、加工乳:190.1、乳飲料:149.5円。

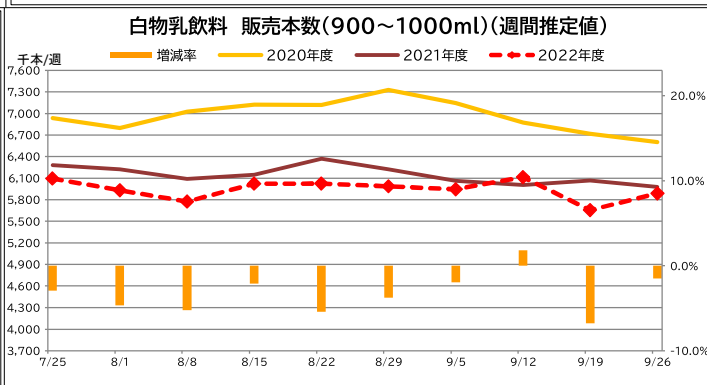
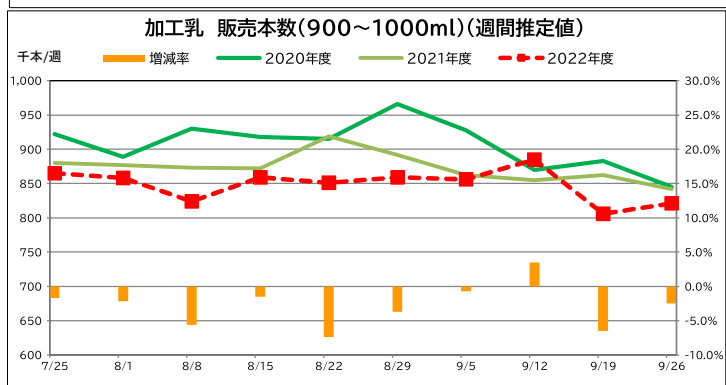
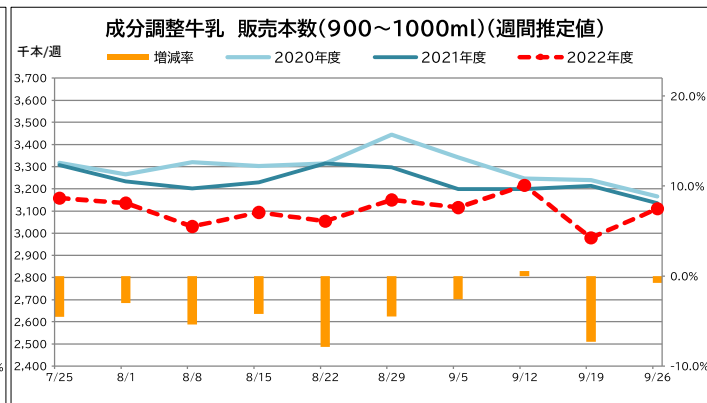
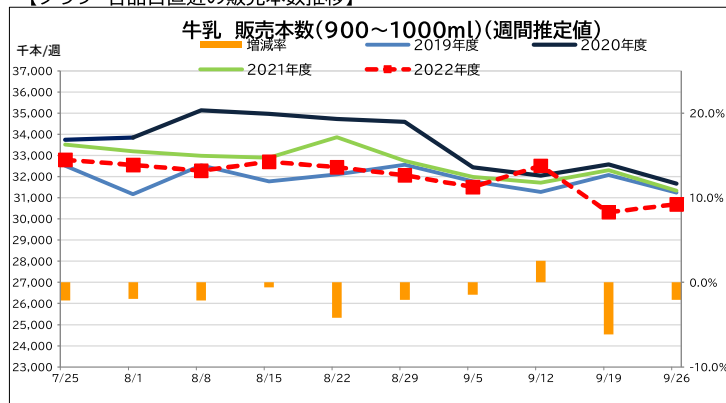
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	8.8-	8.15-	8.22-	8.29-	9.5-	9.12-	9.19-	9.26-
トータル	販売個数	41,902	42,674	42,379	42,058	41,428	42,725	39,757	40,513
	販売個数前年比	97.1	98.9	95.3	97.5	98.4	102.3	93.7	98.1
	販売単価	184.2	183.5	183.4	183.5	183.3	183.8	183.3	182.9
牛乳	販売個数	32,274	32,700	32,450	32,062	31,512	32,511	30,316	30,693
	販売個数前年比	97.9	99.4	95.8	97.9	98.5	102.5	93.8	97.9
	販売単価	190.9	190.4	190.3	190.4	190.3	190.7	190.3	190.1
成分調整牛乳	販売個数	3,030	3,094	3,054	3,150	3,116	3,216	2,979	3,111
	販売個数前年比	94.6	95.8	92.2	95.5	97.5	100.6	92.7	99.2
	販売単価	175.1	174.6	175.0	174.2	174.5	174.4	174.3	173.6
加工乳	販売個数	824	859	851	859	856	885	806	821
	販売個数前年比	94.5	98.5	92.5	96.3	99.2	103.5	93.4	97.5
	販売単価	191.2	191.2	190.1	190.1	189.6	191.4	190.4	190.1
乳飲料	販売個数	5,773	6,021	6,025	5,987	5,944	6,113	5,656	5,888
	販売個数前年比	94.8	97.9	94.6	96.2	98.0	101.8	93.2	98.5
	販売単価	150.1	149.6	149.7	150.0	150.1	150.6	150.0	149.5

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(9/26週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)全品目通じて販売個数が前週よりも増加し、特にドリンクタイプは前年を上回る水準となった。

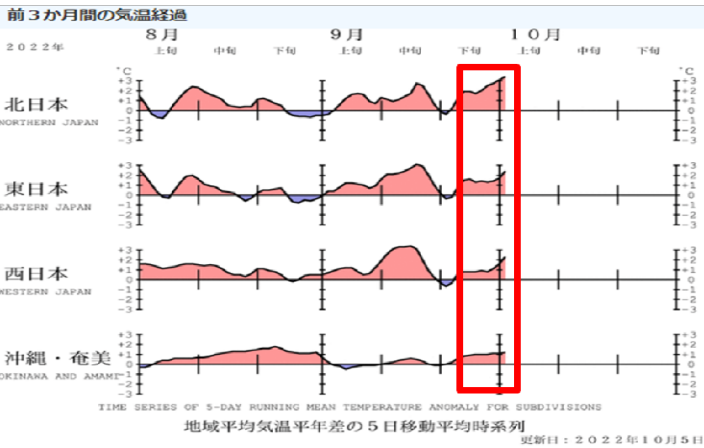
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	8.8-	8.15-	8.22-	8.29-	9.5-	9.12-	9.19-	9.26-
ドリンクタイプ	➡	➡	➡	➡	⬇	➡	⬇	➡
個食タイプ	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇
大容量タイプ	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	➡	⬇	⬇

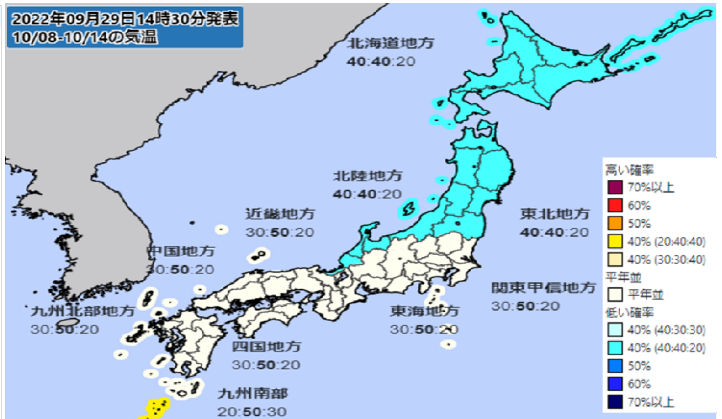
- : 前年比90%未満
- : 前年比105%以上110%未満
- : 前年比90%以上100%未満
- : 前年比110%以上120%未満
- : 前年比100%以上105%未満
- : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※9/26週の気温経過 出典:気象庁



※10月2週目の気温予報(10/8~10/14) 出典:気象庁



※「2022年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」